

津市に住み、結婚したい、子どもを産みたい、子どもを育てたいと思う人たちの希望がかなう環境づくりを進めます。

R1年度実績
対する分析

津市で家庭を持ち、安定した暮らしをしたいという人の希望をかなえるために必要となる雇用の創出・拡大を図ります。

R1年度実績
対する分析

津市への定住や移住、交流といった観点からの、津市への新たなひとの流れの創出を図ります。

R1年度実績 に対する分析

総人口が緩やかな減少傾向にある中で、4年連続で転入超過となり、社会動態の面では、一定の人口を維持することができた。しかしながら、年齢別の移動数は、20代、30代の転出数が最も大きく、進学、就職が大きな要因となっていると考えられることから、当該世代に対する進学や雇用と連動した定住促進に引き続き取り組む必要がある。

また、外国人の転入数は年々増加していることから、外国人の受け入れ環境の充実に向けた取組も重要となる。

一方で、県内の移動状況としては、転入超過が続いており、特に20代、30代の年齢層の転入数が多いことから、魅力ある地元企業や子育て環境に関する情報を積極的に発信し、県内外からの転入促進施策にもさらに取り組んでいく。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響とみられる都市圏での人口動態の動向を注視しながら、事態の収束後を見据えた移住促進への取組を検討していく。

基本目標④ 人と人が繋がった暮らしやすい地域づくり

地域に暮らす人たちが明るい将来を思い描き、互いに支え合い、笑顔があふれる地域づくりを進めます。

数値目標	計画策定時 (H26年度)	目標値 (R1年度)	実績値					第2期人口ビジョン・ 総合戦略目標値 (R6年度)
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
市政アンケート等で 「津市は住みやすい」 と回答した人の割合	80.1%	90.0%	-	79.6%	-	81.4%	-	90.0%
R1年度実績 対する分析	令和元年度は市政アンケート（2年に1回の実施）の実施なし。							
評価	市政アンケートにおいて、「津市は住みやすい」と回答した人の割合は、目標値を下回ったものの、平成26年度の策定時点からは1.3%の増加となっている。また、同アンケートにおいて、津市のイメージとして、「自然環境に恵まれている」に次いで「地域での人間関係が良い」という項目の評価が高くなっていることから、今後も人と人がつながる地域づくりに向けた施策を着実に推進していく。							